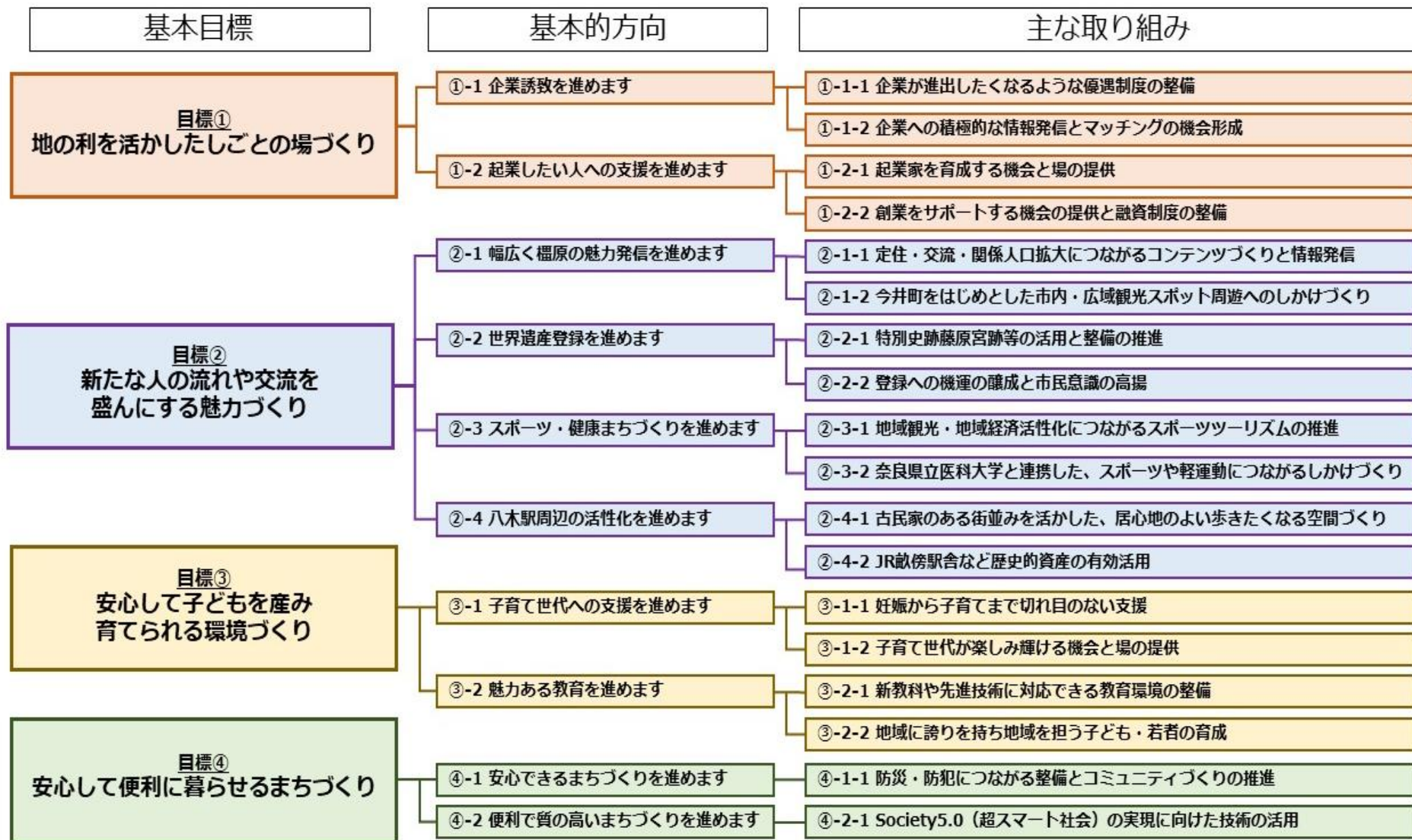


橿原市第2期まち・ひと・しごと 創生総合戦略の策定状況

第4回審議会後、第4回戦略策定ワークを開催しました。
今後、さらにヒアリング等で体系整理を行います。
今回は、策定状況の進捗を報告します。

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 取組体系案

(R1.11.20策定委員会・R1.12.5総合政策審議会提示)



第5回庁内策定委員会（R1.11.20）で出た意見要旨

- これまで継続してきた事業であっても、本当にこれから注力していくべきものなのか、すべてを盛り込むのではなく、実現できる事業なのか見極める必要がある。もう少し全体的に精査する必要がある。
- 第1期の取組みも同様であるが、戦略にあげる以上は、しっかりと取り組んでいけるものを。

第4回総合政策審議会（R1.12.5）で出た意見要旨

- 全体的に主な取組のレベルの抽象度が高い、もう少し具体性があった方がいい。
- ①-1企業誘致に関して、どこの市町村も進めているなかで、企業があえて檜原市を選ぶためには、どういう企業に来てもらえれば檜原市に有利に働くのか、具体的にイメージを。
- ①-2起業支援に関して、どんどん若い世代に起業家教育・起業トレーニングをしていく動きがある。公共事業でベンチャーや起業家への優先調達など、起業して仕事を受けるという、循環を作っていくような施策も考えられる。
- ①-2,②-1,②-4古民家活用に関して、今井町の空き家は面積が広く、地価が高い等の理由で乗り越えるべきハードルは高い。実効性を含め議論してほしい。
- ②-3高齢になる手前からの未病対策が重要となってきた。医大と連携したまちづくりは全国でみても特徴的で、重要な資源なので、産業を含めどう連携するのか具体的なメニューを煮詰めてもらえれば。
- ①,②-3医大は高度医療提供の場と、最先端の研究を進める場である。スポーツ障害に対して効果的なトレーニング研究の分野、一方で、活動量増加や病気になりにくい環境を研究する公衆衛生的な分野もある。どの戦略をとるかで取組みが変わってくる。医大と檜原市、市民に加えて、技術や施設を提供する企業のそれぞれがメリットを感じられる工夫があれば、それが売りになり具体的な動きが現れる。
- ①-1,②-3,④-2健康・医療でデータを蓄積していくと、それを活用しながらサービスを考える企業・起業家も集まってくる。成果に結びつけるには数年かかるが、まさに健康活動や未病・予防に関して医大を軸に産官学で早めに取り組むと先進事例となることのできるのでは。
- ③-2魅力ある教育というのは誰から見て魅力なのか、というのを練ってもらえると、具体的な取り組みの言葉が違うものになるのではないか。

第2期総合戦略 取組体系 案

(R2.1.8第4回ワーク提示)

第4回ワークでは、ワーキングメンバー、策定委員会、総合政策審議会が出た意見をもとに体系を再整理したものを提示しました。

基本目標

基本的方向

主な取り組み

目標①
地の利を活かしたしごとの場づくり

①-1 企業誘致や起業支援を進めます

①-1-1 橿原キャンパスタウン構想における企業誘致の促進

①-1-2 企業立地や起業につながる情報発信と支援制度の整備

目標②
新たな人の流れや交流を盛んにする魅力づくり

②-1 幅広い橿原の魅力発信を進めます

②-1-1 移住・交流・関係人口拡大に向けた情報発信

②-2 自然・歴史・文化資源を活かしたまちづくりを進めます

②-2-1 今井町をはじめとした魅力スポット周遊につながるネットワークづくり

②-2-2 世界遺産登録へ向けた史跡整備の推進

②-3 スポーツ資源を活かした魅力づくりを進めます

②-3-1 地域観光・地域経済活性化につながるスポーツツーリズムの推進

目標③
安心して子どもを産み育てられる環境づくり

③-1 子育て世代への支援を進めます

③-1-1 妊娠から子育てまで切れ目のない支援

③-2 魅力ある教育を進めます

③-2-1 子どもが夢を持って学べる教育環境の整備

目標④
安心して健康に暮らせるまちづくり

④-1 地域住民と連携したまちづくりを進めます

④-1-1 防災・防犯につながる整備とコミュニティづくりの推進

④-2 奈良県立医科大学と連携したまちづくりを進めます

④-2-1 先端技術を活用した健康増進のまちづくり

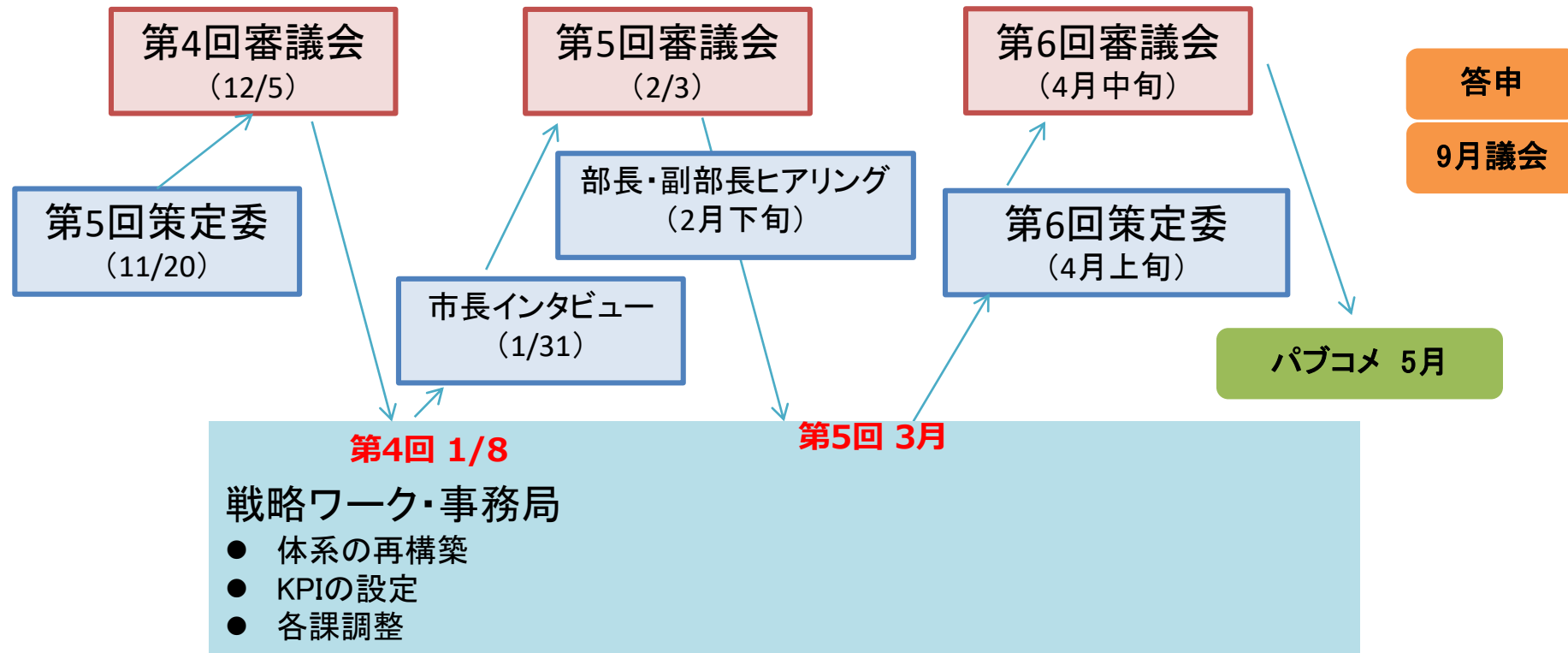
第4回策定ワーク（R2.1.8）で出た主な意見

- 議決対象は基本的方向までだが、戦略冊子には主な取組やその内容まで載る。今後の策定期間の中で、5年間の取組スケジュールや事業費について議論する機会を設けてほしい。
- 戦略の事業費としてはもっと精査して、特化したものだけにしないといけないのでは。
- 浅く広くでは特化したことにならない。重点的に投資しないと効果も出ない。
- 檀原市が向かう方向がはっきりと分かるような戦略にしてもよいのでは。
- 今回提示された取組体系は、かなりスリム化されたのではと感じている。
- 事務局としては「主な取組」について具体的に記載するのか、抽象的に書くのかどちらなのか。→具体的に書くとそれに縛られる懸念があり、柔軟にとりくんでいくには多少抽象的に書かざるを得ない部分もあると考えている。
- 子育て分野については、主な取組の書きぶりが抽象的で、中身が見えない。
- 基本目標④の基本的方向④－1「地域住民と連携したまちづくりを進めます」にはインフラ整備の要素が入っていないように感じる。本市のインフラ整備は周辺市町村より力を入れており、移住・定住に繋がる意味でも戦略的に取り組んでいくべき分野と考える。文言を再考されたい。
- 主な取り組みの「Society5.0」という文言が、今回の提示案では内容の違うものに変更されている。市としてSociety5.0はどう考えるか。→Society5.0は、次期戦略では取り組み全体にかかる土台部分であると考え、主な取り組みの一つとしては表現しないこととした。冊子のなかでどのように表記するかは考えたい。

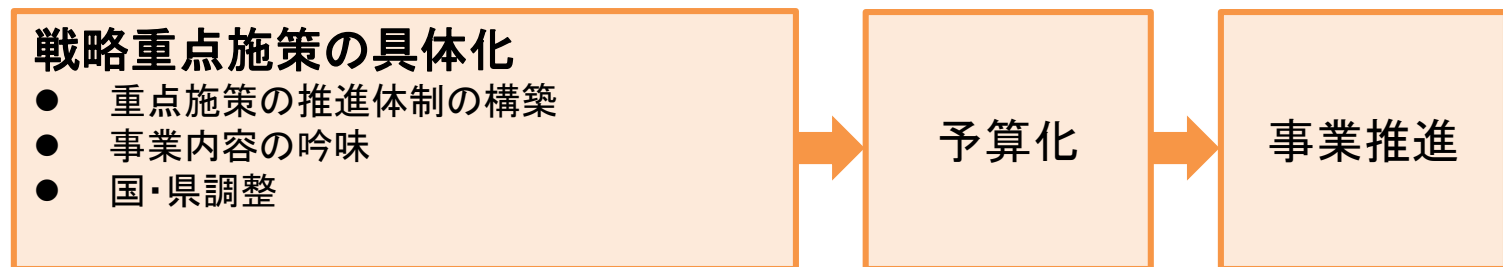
スケジュール（委員会・審議会）

令和元年

令和2年



令和2年度以降



今後のスケジュール（ワーキングメンバー）

1月

ワークメンバーから所属の部長・副部長にワークの経緯と今後のスケジュールを共有

今後のスケジュール

- ① 2月初-中 第4回で示した体系に組み入れる取組みを各課ヒアリング（事）
- ② 2月下 各取組みを含んだ全体体系をワークメンバーにメールで示す（事）
- ③ 2月下 全体体系をワーキングメンバーから所属の部長・副部長に共有（WM）
- ④ 2月下 総合計画・総合戦略に関する部長ヒアリング（副部長同席）（事）（WM）
（部長あてに日程調整）
- ⑤ 3月 事務局にてヒアリングをもとに体系再整理（事）
- ⑥ 3月 第5回ワークで戦略の素案を示す（全体体系、KPI等）（事）（WM）
- ⑦ 令和2年度 庁内策定委員会、総合政策審議会、パブコメ等を経て再調整、
答申、議決

（事）事務局 （WM）ワークメンバー

・ 部長ヒアリング（副部長同席）は日程調整の都合で2月下旬から変更となる可能性もあります。
・ 第5回ワークを予定していることをお伝えしていますが、総合計画の策定進捗状況、議会の日程の都合により、新年度に延期となる可能性があります。その際は引継ぎも考えられますが、あらためて連絡いたします。

④部長ヒアリング（副部長同席）でお伺いすること

部長ヒアリングでは、副部長同席のもと、総合計画及び総合戦略について意見をお伺いします。

総合戦略では、各課ヒアリング後に、全体体系に各取り組みを紐づけてご提示するものを元に以下の内容をお伺いする予定です。

（部長ヒアリングは日程調整の都合で2月下旬から変更となる可能性もあります）

- ・ **第2期総合戦略の全体体系案へのご意見**
- ・ **体系に紐づく各取り組みの取捨選択に関するご意見**

など